

現況検査により認められる状況の記録

令和5年2月8日	
NO	1
場所	敷地
部位	全景




令和5年2月8日	
NO	2
場所	敷地
部位	西側出入口

近隣対策として、敷地の西側出入口にも振動・騒音計が設置されたことを確認。




令和5年2月8日	
NO	3
場所	AB棟
部位	AX1~4通り

AB棟の西側部分（AX1~4通り）の地業（捨コン打設まで）が完了していることを確認。




現況検査により認められる状況の記録

令和5年2月8日	
NO	4
場所	AB棟
部位	AX5通り

前回指摘事項1.であるNo.63 改良体北側端部（AX5通り）の部分は、適切に碎石の敷設、及び、捨コンの打設が行われていることを確認。尚、前回指摘事項2.についても施工者により全数再チェックが行われたことを確認。




令和5年2月8日	
NO	5
場所	AB棟
部位	地業（捨コン）

AB棟の西側部分（AX1～4通り）の基礎底盤下部の部分には、適切な幅（ベース幅600mm+ベース型枠設置分）の捨コンが打設されていることを確認。




令和5年2月8日	
NO	6
場所	AB棟
部位	地業（捨コン）

AB棟の西側部分（AX1～4通り）の地中梁（繋ぎ梁）下部の部分には、適切な幅（幅230mm+型枠設置分）の碎石地業、及び、捨コンの打設が行われていることを確認。




現況検査により認められる状況の記録

令和5年2月8日	
NO	7
場所	AB棟
部位	地業(捨コン)
<p>前回指摘事項3.であるビット下部の根切法面は適切(通り良く)に整備されていることを確認。</p>	
	



令和5年2月8日	
NO	8
場所	敷地北側
部位	CS下部
<p>前回指摘事項4.である1F北側CS下部となる箇所の転圧は、埋設配管工事を実施する際の作業とすることを確認。</p>	
	



令和5年2月8日	
NO	9
場所	タワークレーン支柱
部位	現場内基準レベル
<p>前回指摘事項5.である現場内基準レベル(1FL±0)の盛替えは、施工者によるBMからの再チェックが行われ整備されていることを確認。</p>	
	



現況検査により認められる状況の記録

令和5年2月8日	
NO	10
場所	CY5通り
部位	FG11 (基礎梁)
FG11の鉄筋組が計画通りであることを確認。(上端主筋: 2/2-D22)	
	



令和5年2月8日	
NO	11
場所	CY5通り
部位	FG11 (基礎梁)
同上。	
	



令和5年2月8日	
NO	12
場所	CY5通り
部位	FG11 (基礎梁)
同上。(下端主筋: 2/2-D22)	
	



現況検査により認められる状況の記録

令和5年2月8日	
NO	13
場所	CY5通り
部位	FG11 (基礎梁)
FG11の鉄筋組が計画通りであることを確認。(せん断補強筋：D13@200mm)	



令和5年2月8日	
NO	14
場所	CY5通り
部位	FG11 (基礎梁)
同上。(腹筋：2-D13@300mm以下)	



令和5年2月8日	
NO	15
場所	CY5通り
部位	FG11 (基礎梁)
同上。(幅止め筋：D10@1000mm以下)	



現況検査により認められる状況の記録

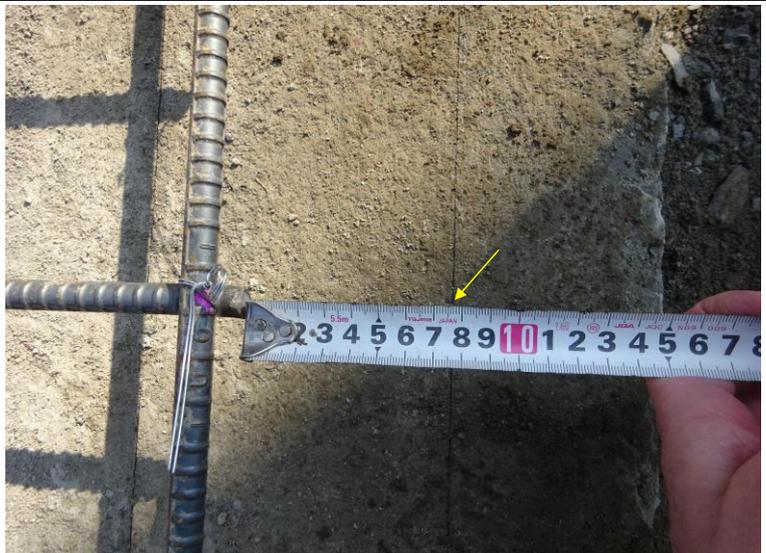
令和5年2月8日	
NO	16
場所	CY5通り
部位	FG11 (基礎梁)
フーチング部のベース筋 (D13@200mm) ・配力筋 (2-D13) が計画通りであることを確認。	



令和5年2月8日	
NO	17
場所	CY5通り
部位	FG11 (基礎梁)
ベース筋下部には、鉄筋かぶり厚さ (60mm以上) が適切に確保できるようサイコロ (スペーサー) が設置されていることを確認。	



令和5年2月8日	
NO	18
場所	CY5通り
部位	FG11 (基礎梁)
フーチング側面部分は、鉄筋かぶり厚さ (60mm以上) が適切に確保できる状況であることを確認。	



現況検査により認められる状況の記録

令和5年2月8日	
NO	19
場所	CY5通り
部位	FG11 (基礎梁)
主筋の圧接継手部が適切な位置 (隣り合う主筋の圧接継手位置との間隔: $a \geq 400\text{mm}$ 以上) として施工が行われていることを確認。	
	



令和5年2月8日	
NO	20
場所	CY5通り
部位	FG11 (基礎梁)
基礎梁成+梁天端補強の出来形が計画通りであることを確認。基礎底盤下端～スラブ天端: 1,350mm	
	



令和5年2月8日	
NO	21
場所	CY5通り
部位	FG11 (基礎梁)
梁天端補強筋が計画通り (通し筋: 2-D13、せん断補強筋: D13@200) であることその他、定着寸法L2 (455mm=D13×35) が確保されていることを確認。	
	



現況検査により認められる状況の記録

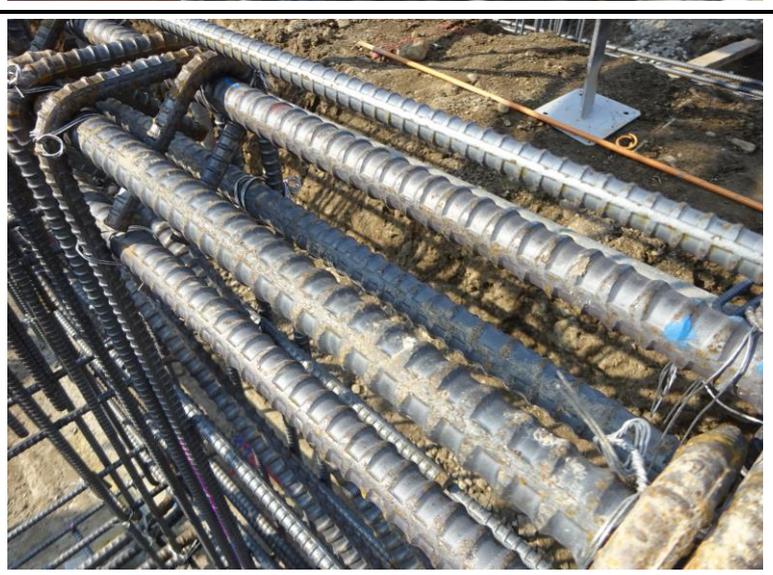
令和5年2月8日	
NO	22
場所	CY5通り
部位	FG11 (基礎梁)
せん断補強筋のフック折り曲げ部の余長が適切 (135° : D13×6=78mm以上) であることを確認。	




令和5年2月8日	
NO	23
場所	CX1通り
部位	FG1 (地中梁)
FG1の鉄筋組が計画通りであることを確認。(上端主筋：2/2-D22)	




令和5年2月8日	
NO	24
場所	CX1通り
部位	FG1 (地中梁)
同上。	

現況検査により認められる状況の記録

令和5年2月8日	
NO	25
場所	C X 1 通り
部位	F G 1 (地中梁)
F G 1 の鉄筋組が計画通りであることを確認。(下端主筋：2/2-D22)	




令和5年2月8日	
NO	26
場所	C X 1 通り
部位	F G 1 (地中梁)
F G 1 の鉄筋組が計画通りであることを確認。(せん断補強筋：D13@200mm)	




令和5年2月8日	
NO	27
場所	C X 1 通り
部位	F G 1 (地中梁)
地中梁(繋ぎ梁)の下端部には、鉄筋かぶり厚さ(60mm以上)が適切に確保できるようにサイコロ(スペーサー)が設置されていることを確認。	




現況検査により認められる状況の記録

令和5年2月8日	
NO	28
場所	CX1, CY5 通り
部位	基礎梁接続部
FG11 (基礎梁) ~ FG1 (地中梁) の接続部では、それぞれの主筋が必要定着長さ: L2 (D22×35=770mm以上) を確保していることを確認。	
	



令和5年2月8日	
NO	29
場所	CX1, CY5 通り
部位	基礎梁接続部
同上。また、コンクリートの廻り込み不良が生じないように鉄筋の「あき」に対する配慮が行われた配筋状況であることを確認。	
	



令和5年2月8日	
NO	30
場所	CX1 通り
部位	FG1 (地中梁)
地中梁 (繋ぎ梁) の側面には、鉄筋かぶり厚さ (40mm以上) が適切に確保できるよう施工されていることを確認。	
	

